Take Free
ご自由にお持ち下さい

もっと！岩手の馬と人の
文化を伝えるフリーマガジン

馬と人

IWATE
LOVES
HORSE

いろいろ、ありますね。

馬と人

―物語のかけらを探して―

はるか昔から
心をわかちあうパートナーとして
人々の傍らで暮らしてきた馬たち。
岩手のあちこちを巡ると
馬と人の絆を感じるエピソードが
あふれています。

馬と人がいる風景

岩手における、馬と人とのつながりは長く深いものがあります。古くは敵陣に挑む戦友であり、日々を共に歩む家族でした。軍馬として、農耕馬として、夢や希望の象徴として、いつの時代を覗いても人の暮らしには馬が寄り添っていたのです。

柳田國男の紹介する『遠野物語』にも馬が数多く登場します。馬と人間の娘が恋をするオシラサマ伝説をはじめ、馬を川に引き込むカッパの話、オオカミに馬を食い殺される話……。思えば馬と人が苦楽を共にした遠野の里。頻繁に話に出てくるのは当然のことかもしれません。

「この地方を旅行して最も心とまるは家の形のいずれもかぎの手なることなり」。厩と軒続きの「南部曲がり家」について、柳田國男はそう記しています。しかし、岩手の農村では当たり前にあった風景。明日を生きる同志として馬をいかに大切にしたかを象徴するものといえます。

photo/ Atsushi Okuyama

馬と人

発行／岩手県農林水産部競馬改革推進室
製作／（株）デカルト
編集／まちの編集室
協力／岩手県競馬組合

contents

03 馬と人～物語のかけらを探して
08 いわて「馬と人」マップ
09 勲さんと馬～ mizusawa AM 3:00
15 ジョッキー★に会いたい！
19 岩手競馬ジョッキー名鑑
20 ドクトル松尾に聞きました！
21 《漫画》はじめての競馬
22 競馬場っておもしろい！
24 メイセイオペラによせて

初夏の風物詩『チャグチャグ馬コ』も日ごろ重労働を課せられる馬たちの無病息災を願い、馬の神を祀る滝沢村の鬼越蒼前神社にお参りをしたことが始まりといいます。華やかな馬具と鈴でおめかしをした馬たち約100頭を連れて、盛岡八幡宮までを練り歩く様子は見ごたえたっぷりですが、かつて農村に生きた人たちは、馬たちへの感謝と無事お参りできた喜びこそが大きかったことでしょう。

県北地方には伝統芸能として馬の水を飲むしぐさや愛らしさを表した「駒踊り」が伝わっており、今も子どもたちへ受け継がれています。

祭り、芸能、伝承――。馬と人が在る風景に誘われて歩けば、岩手が馬とどう関わってきたのかを知る物語の糸口が見つかるはずです。

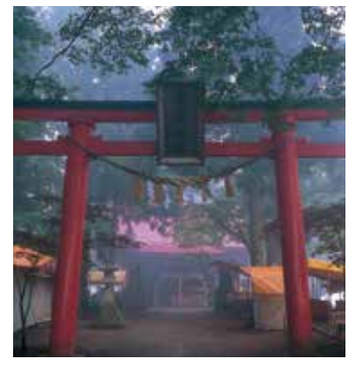
今も遠野の各家で祀られているオシラサマ

大野の駒踊り／南部氏が三戸城より盛岡へ下る際に、大野村（現洋野町）付近に伝わった郷土芸能。鳴雷神社例大祭では８月17日、19日にお通りがある

チャグチャグ馬コ（滝沢村・盛岡市）／６月第２土曜日
下／蒼前神社

南部曲り家／江戸時代の南部藩にみられる母屋と馬屋が一体となったＬ字型の農家住宅。馬と人は同じ屋根の下、寝食を共にしてきた
写真提供／岩手県立博物館

南部の名馬をたどる



岩手県を含む東北地方一帯は、古来より日本有数の馬産地でした。県南にある一関市千厩町もその一つ。前九年の役の際、源義家が軍馬千頭をつないだことが地名の由来と伝えられ、藤原秀衡が源義経に贈った幻の名馬「太夫黒」の出生地といわれています。

鎌倉時代になると、南部氏の統治下で産出された馬はその立派な馬体から「南部馬」と珍重されたとか。江戸時代の馬は平均体高が127～130センチメートル。しかし、南部馬の平均体高は145.4センチメートルと大柄だったようです。一流ブランド馬を育む南部藩の噂は各地に広まり、御料馬として皇室にも献上されました。明治天皇の愛馬として有名な「金華山号」も南部産です。

また、日中戦争から生還を果たし奇跡の馬と讃えられた「勝山号」は、映画「馬」のモデルにもなっています。現役引退後は静かに農耕馬として暮らしましたが、２年で亡くなります。「勝山号」の頭と首から見つかった砲弾の破片は、彼の壮絶な生き方を物語るようです。

盛号／最後の南部馬と言われる。品種改良によって純粋な南部馬は絶滅してしまった　写真提供／十和田市馬事公苑（駒っこランド）

馬を育てる風土

しかし、どうして岩手でこれほど多くの名馬が誕生したのか。その背景には、藩政時代から徹底管理のもとで優良馬を生産育成したことが大きいようです。例えば、現代の血統書にあたるものを作成して、南部馬の「血」を保持。また、寛文から元禄年間（1661～1703）にかけて始まったといわれる南部二歳駒のセリ市では、売買は領内に限り、他藩の博労の参加を禁止する（のちに賦金をとって参加を許可した）など、良馬の流出や、他藩の馬の流入を制限したのです。

一方、県南の仙台藩領では生産馬の流通を管理するために専門の奉行をおいた時代もありました。平和な時代になると農耕馬として馬を育て、各地で馬市が開かれるようになります。飼い草が豊富な江刺周辺は馬を育てる環境にぴったりだったようです。

盛岡馬検場跡／「金華山号」の評判が立ち、全国から南部馬を求める人々で賑わった。旧馬町（現清水町）から新馬町（現松尾町）へ移設され、今も建物が残る　写真提供／岩手県（県南広域振興局）

いわて 馬と人 マップ

馬に関わる県内の施設

**岩手県内には馬と人の
関わりを学ぶ施設や場所がいっぱい。
ドライブがてら訪れてみては？**

★競馬関連施設

馬とふれあえる施設

★**小岩井農場まきば園**
岩手郡雫石町丸谷地 36-1
tel.019-692-4321

★**馬っこパーク・いわて**
岩手郡滝沢村滝沢字砂込 389-18
tel.019-688-5290

★**遠野馬の里**
遠野市松崎町駒木 4-120-5
tel.0198-62-5561

展示・資料館など

●**軽米町歴史民俗資料館**
九戸郡軽米町大字軽米 9-53-1
tel.0195-46-4232

●**宮古市北上山地民俗資料館**
宮古市川井第2地割 187-1
tel.0193-76-2167

●**岩手県立博物館**
盛岡市上田字松屋敷 34
tel.019-661-2831

●**遠野市立博物館**
遠野市東館町 3-9
tel.0198-62-2340

●**せんまや馬事資料館**
一関市千厩町千厩字北方 134
千厩酒のくら交流施設内
tel.0191-53-2070

●**盛岡手づくり村（南部曲り家）**
盛岡市繋字尾入野 64-102
tel.019-689-2201

●**遠野ふるさと村（南部曲り家）**
遠野市附馬牛町上附馬牛5地割89- 1
tel.0198-64-2300
※南部曲り家は他にも遠野の千葉家や
伝承園など各地に多く残っています

※詳細は各施設にお問い合わせください

乗馬を楽しもう！（乗馬・引き馬体験施設一覧）

予約必要の有無、営業期間、料金等の詳細は各施設にお問い合わせください。

- 安比高原牧場／八幡平市安比高原 171-2　tel.0195-73-6995（引き馬のみ）
- 馬っこパーク・いわて／岩手郡滝沢村滝沢字砂込 389-18　tel.019-688-5290
- 小岩井農場まきば園／岩手郡雫石町丸谷地 36-1　tel.019-692-4321（引き馬のみ）
- 遠野馬の里／遠野市松崎町駒木 4-120-5　tel.0198-62-5561
- とうほくニュージーランド村／奥州市衣川区日向 59　tel.0197-52-4577（引き馬のみ）
- 岩手ウエスタン乗馬クラブ／一関市赤萩字上台 42　tel.0191-25-2652
- 風薫る丘みちのく乗馬クラブ／一関市大東町字山口 51-9　tel.0191-72-4321

【参考文献や資料】
■いわての競馬史（岩手県競馬組合）
■北の馬文化（岩手県文化振興事業団）
■岩手馬事文化観光ガイド「いわて馬っこめぐり」
（岩手県農林水産部競馬改革推進室）
■岩手日日新聞「聞こえる蹄の音・岩手と馬の物語」
■岩手県立博物館 web サイト

勲さんと馬

Mizusawa Am 3:00

闇と静寂が支配する水沢競馬場敷地内にぽつりぽつりと灯りがともり、人の足音や物音が聞こえてきたのは、午前3時頃だった。そしてその30分後、ライトに照らされたコースを馬たちがゆっくりと走り始めた。深い紺色に包まれたスタンドに聞こえるのは、馬たちのひづめの音と小刻みなリズムの息づかいだけ。不思議なことに、凛とした姿とともに神聖さを感じさせる。

馬に乗っているのは、水沢競馬場の騎手や厩務員たち。その中に、今年（平成24年）3月に騎手を引退し調教師として第二の人生を歩き始めた菅原勲さんがいた。

ジョッキー★に会いたい！

北に降りた、若き騎士（ナイト）

上田 健人

1991年5月23日生（21歳）／北海道苫小牧市出身／血液型A型
■初騎乗／2009年4月20日　■休日の趣味／ダーツ、買い物　■好きな食べ物／カレーライス

６月から期間限定で岩手競馬に単身武者修行に来ていた上田騎手（大井競馬場所属）。中学生の時に牧場に行ったことがきっかけで馬が好きになり、競馬を初めて見たとき騎手になりたいと思った。「馬が走るスピードや音。生だからこそわかる」と話す競馬の魅力を、騎手として魅せることに努力を惜しまない。騎手３年目の夏、岩手競馬に爽やかな記憶を刻んだ上田騎手。再び、岩手のダートを駆ける日を心待ちにしたい

切感じさせなかった。私自身の気持ちが安定して、余裕を持って乗れるんです。こういう馬はなかなかいないですね」。

さらに、「勝てなくなって落ち込んだ時に立ち直らせてくれたのも馬だった」など、出会った馬たちへの想いは強い。それだけにそんな馬たちとの出会いがなくなってきたことは、勲さんに「引退・調教師への道」を決意させた。今度は調教師となって、トウケイニセイやメイセイオペラのような馬をつくりたい。それが騎手を成長させ、ファンを楽しませ、岩手競馬を盛り上げることにつながると信じている。

厩舎のスタッフと協力しながら、毎日馬の状態をチェックし、レースに向けて仕上げる調教師の仕事は、キツく苦労が多い仕事だ。でも6月に初勝利をおさめるなど馬たちも応えてくれているので楽しいし、やりがいがある。また、元名騎手の新米調教師への注目は大きいが、逆にそれが自分へのプレッシャーとなり、励みになるという。そんな言葉の一つひとつから、今度は名調教師として岩手競馬を盛り立ててくれるに違いないと、期待せずにはいられないのである。

古来から、人間の営みに馬は欠かせない存在だった。時代とともにそうした関係が消えていく中で、馬と人とが一体になってドラマをつくり上げていく競馬は、私たちに、馬を信頼する楽しさと難しさを見せてくれる。

いわて競馬博士 ドクトル松尾に聞きました！

いわて馬／テシオ編集長
松尾 康司さん

「馬に惚れてこそ、競馬！」

「競馬なんて、しょせんギャンブルじゃないの？」と思う方も多いはず。しかし、競馬の魅力はそれに留まらないと競馬関係者は口を揃える。そこで、いわて競馬と共に30年！の競馬ジャーナリスト・松尾康司さんを直撃してみた。いったい競馬の面白さって何ですか？

「何よりも馬が走るってこと。当たり前のことだけど、船でも自転車でもない、生きた動物が走るわけだから賭け事としてリスクがある。不確定要素も多いからこそ面白い」。

静かに話しだした松尾さんだが、徐々に言葉に力が増していく。

「でもね、とにかく馬の走る姿はキレイ。単純にそれを見られるだけで競馬場に足を運ぶ価値は十二分にある。こんなこと言うのは何だけど、最初は競馬新聞の読み方なんて二の次でいい。目、毛並、馬体のラインなどに惹かれた馬がいたら迷わず買ってほしい」。

まず1頭、自分が心惹かれる馬を探して馬券を買ってみる。運よく当たったら、その日見た状態はとても調子よかったということ。それを基準に、わが子を見守るように1頭の様子を追いかけてみると、仕上がりの違いが感じられる。さらには、馬の力を引き出す騎手、毎日の世話をする厩舎の人たちによっても調子が変わる。その奥深さこそが競馬だと松尾さん。実は、初めて海外競馬を観た20代の頃、国による競馬の楽しみ方の違いを肌で感じたという。

「イギリスはゲームとしてクールに賭けを楽しむし、当時の香港競馬はまさにギャンブル。オーストラリアはピクニックがてら競馬を楽しむ。時代によってそのスタイルも変化しているが、日本の場合ファンが心から馬を応援する風土があるし、他国にはないドラマ性があるんだよ」。

そんな松尾さんに岩手競馬の特徴を尋ねると、「岩手は1頭の馬を本当に丁寧に育てている」という。なかなか芽の出ない馬でもじっくり育てて走らせる岩手競馬の人たちには、心の根っこに馬に対する敬意の気持ちがあると……。

あれこれ質問を重ねるうち、話は岩手の競馬場施設に及ぶ。なんと盛岡のオーロパークは、国際レースも可能な条件が整っていると聞きびっくり。

「盛岡競馬場のダート（砂）コースは、スポーツとしてスマートに競馬を楽しむアメリカを参考につくられたエンターテイメント性を重視したつくりになっている。馬はコーナーを曲がる時、どうしても惰性で走るから本来の実力馬じゃない馬にも勝つチャンスがある。ところが、盛岡競馬場は同じ距離でもコーナーが少なく直線が長い。これは国内でも珍しく、ここで真に世界一の馬を決めるレースもできる！しかも、直線の競り合いをファンが肉眼で観戦できる、非常によくできた競馬場なんです」。

やや濃い話になってきましたが、とにかくかわいい1頭との出会いが先。まずは競馬場へ行ってみよう。

松尾康司／学生時代に牧場で馬の世話をするアルバイトをしたことで馬に魅せられる。以来30年、岩手競馬はもちろん、全国の競馬場、世界各国の競馬取材を重ねてきた。岩手競馬の予想紙記者、地方競馬初の情報誌「テシオ」編集長を経て、現在は「いわて馬／テシオ」編集長を務める。

いわて競馬のもっと濃い話はコチラへ。
勝ちそーチャンネル　www.tesio.jp/

田中美菜子／盛岡在住の漫画家。集英社「マーガレット」で『レモネード』『ピースを探せ』等、作品多数

盛岡競馬場

清々しいオーロパーク！水沢とはまた違った近代的な雰囲気。快適です♪

普段は見られない裏側を拝見！こちらは「装鞍所」という、出走前の馬たちに鞍をつける場所。スタッフの皆さん、大忙しです

盛岡競馬場の名物といえば「ジャンボ焼鳥」。一本でおなかがいっぱいになるほどボリューム満点。味付けはタレと塩、どちらもおいしい！

こちらはジョッキー検量室と控え室。
レース前は緊張感漂う空間となります

盛岡にも馬の図柄モノがありました！
電話線？のマンホール蓋

岩手県盛岡市新庄字上八木田 10
（盛岡駅よりバスで 35 分、タクシーで 20 分）
※盛岡競馬開催時は盛岡駅から無料優待バスあり。
　くわしくはサイトを参照

レースが終わった後、ジョッキーたちが戻ってきました。厩舎の方々が馬を引き、ジョッキーは鞍を持って控え室へ。おつかれさまでした～

競馬場 って おもしろい！

http://www.iw　atekeiba.or.jp/

巨大なオーロパーク、　昭和レトロな水沢、
どちらも楽しみ方　はいろいろです。
なにげない風景、現　場の裏側、それぞれ
ほんの少しご　紹介します

入ってすぐのインフォメーション内では、本誌にも登場の菅原勲さん引退記念キーホルダーを発見。ファン唾涎のレア物です

馬イラストが素敵な壁の向こうは水沢競馬場。このレトロ感がたまらない！

懐かしい雰囲気の水沢食堂。絶対に食べて欲しいのが「ホルモン」。たっぷり七味で熱々をビールでギュギュっとやっちゃってください。お隣の店では勝丼、勝カレーもあるよ

なぜかこんな所に南部曲り家が！
実はこれ、市内にある駒形神社の御祓いも受けた「宝（トレジャー）神社」。惜しまれつつ引退した岩手のアイドルホース「トレジャースマイル」(の馬形)もいる。額のハートマークがかわいい！縁結びのご利益もあるとか？

食堂の前広場にはメタセコイアのシンボルツリー。ほっとする空間です

水沢競馬場

水沢競馬場の魅力はなんといっても、コースと観客席の近さ！心臓に足音が響く距離で、馬たちがコースを駆け抜けていきます。最後の直線となると、ゴール前で待っていたお客さんたちもニョキニョキっとみんなが立ち上がる！気持ちも高まります！行けー！！

水沢は鋳物の町でもあります。南部鉄器のドアノブは蹄鉄をあしらったデザイン

岩手県奥州市水沢区姉体町字阿久戸 1-2
（水沢駅よりバスで 15 分、東北新幹線水沢江刺駅よりタクシーで 5 分。近隣の私設駐車場をご利用ください）
※水沢競馬開催時は水沢駅東口から無料優待バスあり。
　くわしくはサイトを参照

1999年1月31日。メイセイオペラが日本競馬史に新たな1ページを刻んだ。

地方所属馬で初めてJRAのGIレース・フェブラリーステークスを優勝。

早いものであれから13年が過ぎたが、いまだにメイセイオペラに続く馬は出現していない。

かつて地方競馬出身のハイセイコー、オグリキャップが一大旋風を巻き起こしたが、彼らが社会現象とまでなったのは中央競馬（JRA）へ移籍してから。当時のルールでは地方を一旦抹消し、中央登録しなければ桧舞台に立てなかった。

時代もメイセイオペラを後押しした。長きにわたって中央と地方の垣根越えが叫ばれていたが、ようやく兆しが見えたのは1995年。

交流元年と呼ばれたその年、水沢競馬場でライブリマウント、トウケイニセイが南部杯を舞台に対決した。JRA所属のライブリマウントは全国の地方競馬を渡り歩き、ことごとく地方馬を蹴散らした。一方、トウケイニセイは地方競馬最後の砦。

岩手競馬史上最強馬の名を欲しいままにしていたトウケイニセイは、地方ファンの思いを一身に託された。地の利があればライブリマウント、何するものぞと。

100,000人の“イサオ・コール”。馬と人が共に心を熱くした、あの日。

essay

メイセイオペラによせて

文／松尾康司

しかし、思いはもろくも崩れた。ライブリマウントが堂々1番人気に応えて優勝。翌年春には世界を目指し、ドバイワールドカップへも挑戦した。一方、トウケイニセイは42戦目にして初めて3着に沈み、連対（2着以上）記録にもピリオドを打たされた。

レース後、菅原勲騎手がゴーグルを外さずインタビューに答えた。「あと1年でも対決が早かったら…」。悔しさがヒシヒシと伝わった。

物語には布石がある。4年後、日本競馬の総本山・東京競馬場で菅原勲騎手はメイセイオペラとのコンビでリベンジを果たした。

共同インタビューで菅原勲騎手はこう答えた。「いろんな経験があったからこそ、中央のGIを優勝できた」。

メイセイオペラの快挙を称え、10万人の“イサオ・コール”が東京競馬場にこだました。本来、これはあり得ないこと。中央競馬のファンだけなら“菅原コール”だったろうが、応援に駆けつけた岩手、地方ファンの一部から派生し、いつの間にか“イサオ・コール”の大合唱となった。

もう一度、あのときの夢を見たい。感動を共有したい。岩手ホースマンたちの夢はまだまだ続く。

がんばろう東北
心をひとつに 岩手競馬

2012年10月発行　岩手県（農林水産部競馬改革推進室）
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1　Tel：019-629-5634　Fax：019-629-5769
岩手県ホームページ　http://www.pref.iwate.jp/　Facebookページ「馬と人」http://www.facebook.com/umatohito/